

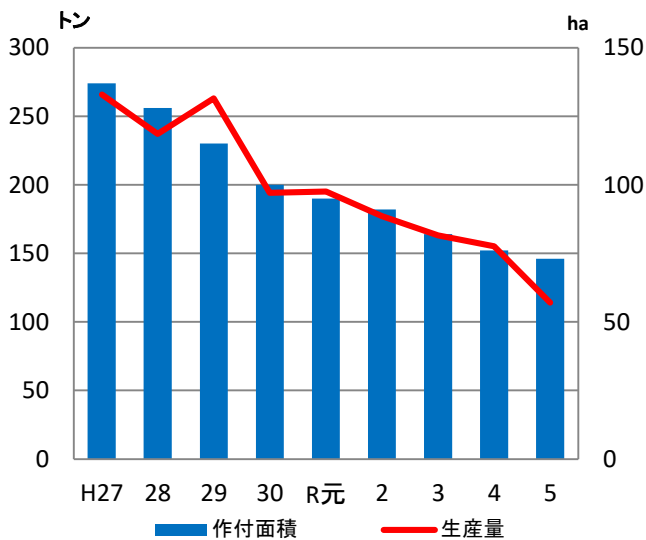
2 ホップの概要

東北におけるホップの作付面積は、昭和40年代に1,200haほどあったが、生産者の高齢化などにより減少し続け、令和5年は73haとなっている。

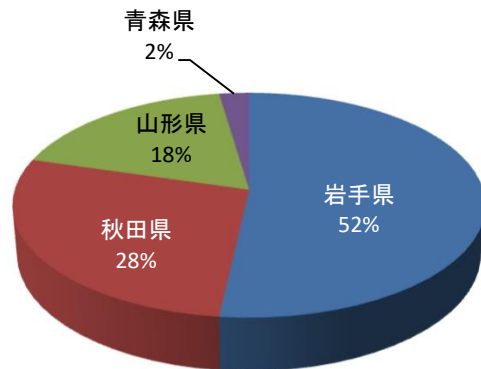
東北でのホップの栽培は、作付面積・生産量ともに全国の9割以上を占め、東北以外では北海道のみが産地となっている。東北で作付面積が多い県は岩手県、秋田県、山形県で、3県で東北地方のほぼ全面積を占めている。

契約会社別の作付面積は、麒麟社が最も多く全体の7割を占め、次いでサッポロ社、アサヒ社の順となっている。

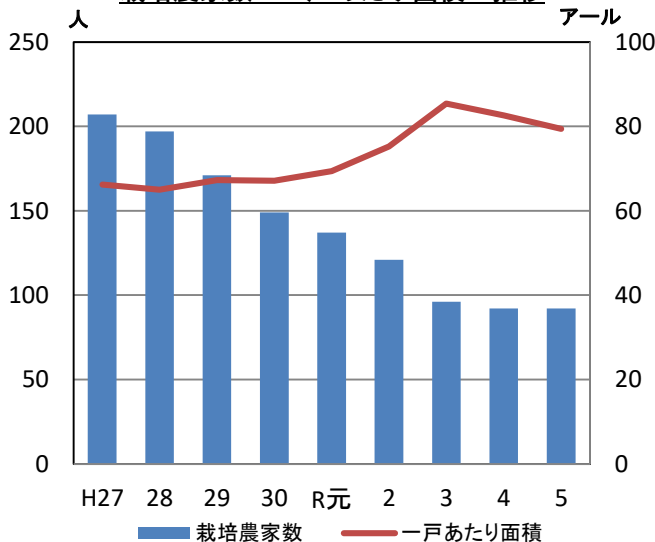
作付面積・生産量の推移



東北における県別面積シェア（R5年産）



栽培農家数・一戸あたり面積の推移



契約会社別面積シェア（R5年産）

